

入曽精密の挑戦

一番大事なのは、はじめること
～やりたい事をみんなが考えて商売につなげよう～



リーマンショックの影響は試作・開発型の製造業にも及んでいた。「アルミの薔薇」や「世界最小のサイコロ」で注目される入曽精密も試作・量産案件ともに受注が激減した。そんな2008年後半のある時、社長の斉藤清和は従業員に次のようにハッパをかけた。「この不況はチャンスだ。いま時間的に余裕がある時に、やりたいことをみんなが考えて商売につなげよう。きみはギターが好きなんだから、ギター業界に貢献できる製品を考えろ。きみはバイク好きなんだから、バイク好きが欲しいものを考えろ。それから作っただけではダメだ。自分で責任持って営業して、注文ももらって来い」

この言葉に奮起した製造部の杉本佳人は、バイクのエア・クリーナー部品を作ると決意し、アイデアをまとめ、毎日営業回りをした。そしてあるカスタム・バイクショップが賛同してくれ商品化にこぎつけた。切削加工ならではの特殊なフィン形状などにより、トルク性能が向上すると

いうデータも出た。そして1年がたった現在、延べ1000台の受注を超え、現在、全国のバイク・ファンに愛用されている。杉本はいま多忙の中にも生き生きとして、次の新製品の開発に取り組んでいる。また、前述したギター好きのスタッフも某楽器メーカーと製品化に向けて商談に入ったという。

斉藤は言う。「アルミの薔薇も究極のサイコロもバザラ大將も、日本が誇る職人技術(知恵)とITの融合による製造業のスキルアップを目指したもの。しかしながら、0.3mmのサイコロはすごい切削加工技術だと注目はされたが、世の中はそんなに変わらなかった。微細な切削加工だけではだめだと思い、こんどは0.3mmの製品の組み立て技術に取り組んでようやく実現できそうになってきた。まだ内容は言えないが世の中が変わるかもしれない。一番大事なのは始めることだと思う。そして続けること」

景気が回復傾向にある入曽精密だ

が、新しい技術への挑戦がやむことはないようだ。



①実際に取り付けの様子 ②アルミの薔薇
③0.3mmのサイコロ(隣はシャープペンシルの芯)
④国宝バザラ大將(5軸マシニングセンタによる削り出し)



Company Profile

- 会社名: 株式会社 入曽精密
- 代表者: 代表取締役 斎藤 清和
- 所在地: 〒358-0032 埼玉県入間市狭山ヶ原369-1 (武蔵工業団地)
- TEL: 04-2934-4633(代表) / FAX: 04-2934-4630
- 設立: 昭和46年11月
- 資本金: 1600万円
- 従業員: 14名
- 業務内容: 精密切削加工 微細加工 三次元形状部品製作 (モデリング、スキャン含む)